

# やまもも

2

2022 FEBRUARY



表紙紹介：共同記者発表

商工会活用事例

がんばる商い人

青年部だより・女性部だより

商工会からのお知らせ

# 新商品・新サービス等

## 共同記者発表会開催



福崎町商工会では、小規模事業者の方が持続的発展いただく事を目的として、令和元年度から経営発達支援事業に取組んでいる。コロナ禍で、展示会や商談会に出展しにくいため、令和3年12月15日(水)に商工会館2階多目的ホールにおいて、新商品・新サービス等共同記者発表会を開催した。当日は5事業所が発表し、5社のマスコミ関係者が参加した。発表内容は次の通り(発表順、商工会ホームページでも紹介)

発表者1：新日本製麺株式会社  
代表取締役 牛尾 周平  
商品名：グランピング＆ワーケーション施設  
タイトル：瀬戸内海と空、灯台の閃光と夜空が同時に体感できるグランピング＆ワーケーション施設 2022年春オープン  
内容：福崎町の製麺会社が事業再構築補助金を活用して赤穂市でグランピング施設の開業を目指す。コロナにより、

取引先である飲食店の売上が大きく減少。新しい事業を模索する中で、日常から離れ、ゆっくりと自分を振り返る時間を持つことでリフレッシュされ新たな気持ちで仕事に打ち込めた自身の体験を通じグランピング事業に取組む。

発表者2：株式会社一(ひとつ)  
代表取締役 千家 浩平  
商品名：ペット専用カタログギフト  
タイトル：日本初！衣・食・住(犬服、フード、雑貨等)全てに対応  
内容：千家氏は家業を継いでペットショッピングワーンスマイルを経営、令和元年に株式会社一(ひとつ)として法人成立了。ペットは今や家族同然。おやつのプレゼント交換をしたいというお客様も増えている。ドッグフードのカタログギフトはあるが、衣・食・住の全てに対応したカタログは無かつた。贈り手が飼い主へ、飼い主はペットへ。贈った人も、贈られた人も、ペットも、みんなが幸せになる新しいギフトの仕方を提案。



1／発表者 2／発表事業所の展示風景

**発表者3：有限会社新栄自動車整備商會  
代表取締役 北山 貴士**  
商品名：新栄デリバリー  
タイトル：飲食店を盛り上げ、町を元気にしたい！地元の人気店とタッグを組んだデリバリー事業  
内容：北山氏は、自動車整備販売会社を営む傍ら令和元年10月から運転代行を行っていたが、コロナにより売上が減少。同じ境遇にある飲食店とタッグを組んで、運転代行で使用している車の一部を改造して令和2年12月からフードデリバリーを始めた。困っている飲食店の役に立ちたい、美味しいお料理を出来立てでお届けしたい。そんな想いで食品を運んでいる。

**発表者4：尾上組有限会社  
代表取締役 尾上 結希**

**商品名：良質古材の再生**

**タイトル：創業100年超の工務店が、木造家屋の解体工事に新規参入**

内容：伝統構法で建築基準法の建築許可を県内唯一取得している会社が、解体工事分野に進出する。これまで、解体工事は外注であり、無造作に解体された家屋から出る古材は全て処分されていた。しかし、古民家には良質の古材が多く存在するため、その古材を買取り、次の家に再生する。木材高騰と不足が本格かつ長期化している「ウツドショック」にも対応し、資源を再

利用する事で持続可能な開発目標SDGsにも繋がる。この事業を通じて可能な限り産業廃棄物の減少と古材活用に努め資源循環型の社会への貢献を目指す。

**発表者5：Anything abou towa(えにいしごあばうとうわ)**  
**代表 溝口 りか**  
商品名：音琴 otokoto

**タイトル：裁縫業界初！一生使える裁縫セット・お針子セット**

内容：溝口氏は長年アパレル業界に従事していたが、加古川市で裁縫セットを企画する事業を令和3年3月に開業した。縫製セットは、小学校の時に学校指定の縫製セットを購入されているが、正直などころ使いにくい。使いやすい道具だと技術が力バー出来て縫製に対するイメージも変わってくる。裁縫セットはほとんどの方が小学校で購入したもの捨てずに持ち続けられている。「ずっと持ち続けるなら最初からいい道具でいいのでは？」という思いと「使い捨てる商品を買うのを止めよう」という思いから値段は高いが、親から子へ、子から孫へと使い続けられるものを開発。環境にも縫製ユーチャーにもやさしい商品となつている。